

互和讚会 25年例会 (S37年春)

今年の例会は平成25年11月19日(火)～20日(水)で、11月19日昼過ぎ、JR姫路駅に集合して始まった。

関東からの参加が3人、名古屋から1人計15人で駅前からバスで書寫山圓教寺に向かう。山全体が境内であるこの寺は、性空上人によって開かれ「西の比叡山」とも称されて信仰を集めて来たそうで、多くの重要文化財が現存し、紅葉が始まったこの時期多くの参拝者で賑わっていた。短い時間ではとても拝観出来ないくらい広い境内の中では、来年の大河ドラマ「黒田官兵衛」の収録も既に2箇所で行われたそうである。

歴史ある立派な建物に感嘆し、多くの仏像に手を合わせることに深い意義を感じる我々もそんな年齢になったのかとも思うと、何か感慨深いものがある。



この後迎いのバスで今日宿泊する塩田温泉の上山旅館に向かった。

旅館が2軒しかないひなびた姫路の奥座敷の温泉である。それでも小さな露天風呂もあり、ゆっくり浸かった後宴会、山海の料理に舌鼓を打ちながら酒も十分飲み満腹、部屋に帰っていつもの通り一部屋に集まり二次会、又三次会とあったのだが、私は残念ながら睡魔に襲われて宴会の後爆睡、面白かったであろう酒話会に参加出来なかった。本当はいつもこれが楽しく、頭のリフレッシュにもなるのだが……。



後日知ったがこの時の話題は今の人生を楽しんでいる友人の話や、次会の幹事は福西氏で、奈良や三重県の伊賀、上野方面で行うと話がついたと言うことが主だったそうである。翌朝奥山君も京都から車で駆けつけ16人で朝食、送迎バスで姫路城へ。

平成の大天守修理中の世界遺産でもある国宝姫路城で、その修理の様子を8Fまでエレベ

ーターで上がり 8 F で屋根修理を、7 F で壁面修理を間近に見学出来、その大掛かりな修理に感嘆した。約 5 年を掛けての大修理で平成 27 年早々の完成が楽しみである。

城前のレストランで昼食をとり、姫路城の西御屋敷跡庭園である好古園を見学した。

見事な日本庭園で、中央に造られた池を取り巻く庭の風景はどこから見ても素晴らしい View Point になっていた。



いずれにしても今の姫路は、来年の大河ドラマ「黒田官兵衛」の舞台になることを中心として非常に活気にあふれ、来年はまさに**姫路の年**の意気込みが感じられた。

我々のクラスは留学生を除いて 32 人、既に 10 人が他界している中で特に用事が重なり参加できなかった人以外体調不良 2、3 人であるだけで、多くが元気に参加出来たことを喜び、お互い健康で次回をと願いながら散会した。

今回の出席者 集合写真（上山旅館前）



後列左から 宮崎 博 高井禎之 岩坪正光 高井夫人 斎藤邦秀 泉 夫人

阪口文雄 桜井建郎 佐原 肇 福西興至

前列左から 山崎治忠 奥山正夫 宮脇雄也 三崎 歩 川崎登也 山中寛城

(色染 昭 37・山崎治忠)